

こんにちは。

ついに 11 月が過ぎ、約 8 か月間の留学生生活を終えて日本に無事帰国しました。空港に到着し、私は最初に外の暗さと気温の違いを感じました。オーストラリアは夏に向かっていて、サマータイムも導入されていたため午後 8 時くらいになってようやく日が暮れ始めることも普通で、こんなに暗くなるのが早かったのかと少し驚きました。また、オーストラリアから飛行機に乗るときには暑く感じていた制服も日本に着くと肌寒く感じ、季節の違いを実感しました。

この留学は楽しかったことも大変だったこともたくさんありましたが、長いようであるという間でした。まず、私たち次世代リーダー10期生の A コースはもともと 1 月に出発する予定でしたがコロナの影響で延期になり、本当に留学に行けるのかという不安を抱えたまま 3 か月を過ごしました。出発直前にもビザの発行ができていないというトラブルがあり留学前から想定外のことばかりでした。オーストラリアに着いたときは 4 月でちょうどターム 1 が終わる時期だったのでターム 2 が始まる 5 月までの約 1 か月間語学研修を受けました。この研修の中で文化や考え方の違いを実感するような出来事もありましたが、少しオーストラリアでの生活に慣れて現地の学校に行く準備をすることができました。

現地の学校ではたくさんの友人を作ることができ、英語を話す多くの機会を得ることと充実した学校生活を送ることができました。最初は、学年の途中から入ったことや英語力が十分でなかったことなどから何をすればよいのか分からなくて困ることもありました。わからないことを聞こうと思っても英語が間違っていないか不安で躊躇してしまっていました。しかし、留学生生活を続けていくにつれて英語の上達によって理解できることが増えたり、自分から行動しなければ相手にはわかってもらえないし自分も損をするだけだと気づいて文法や単語の間違いを恐れすぎずに発言ができるようになったりしていきました。友人と別れるのはさみしいことではありますが、いつか日本に来た時に案内できるように日本のことをよく知ることや、この留学で身に着いた英語力の更なる上達に向けた学習のモチベーションに変えていこうと思います。

帰国直前の 3 日間は TAFE International House という学生寮に滞在しました。ホストファミリーと別れるときは、悲しさと今までの感謝の気持ちでいっぱいでした。その学生寮については、同じ次世代リーダー育成道場のメンバーと今までの留学生活のことを話したり、大学に見学に行って海外での大学生生活について教えてもらったり、講演を聞いて将来について考えたりしました。刻々と帰国の時が近づいていく中で、これから日本での高校生生活を再開し、大学に向かって勉強をしていく中での具体的な目標を考える良い機会になったと思います。

この留学は行って終わりではなく、帰ってきてこれからどのようにこの経験を生かしていくかが大切だと思います。この留学を通して支えてくれて助けてくれて応援してくれてあらゆることで関わってくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに将来に向けて行動をしていきたいと思っています。